Lesson 11　動名詞

1　動名詞の働き

A. 主語

1.　　…することは～

2.　　It …–ing（形式主語）

B. 補語

3.　　S は…することだ

C. 目的語

4.　　S は…することを V する

5.　　形式目的語

D. 前置詞の目的語

6.　　without　–ing　（…せずに）

E. 名詞修飾

7.　　修飾する名詞の目的・用途を表す

8.　　同上

2　意味上の主語

A. 意味上の主語を示さない場合

9.　　文の主語が動名詞の意味上の主語を兼ねる

10.　　動名詞の意味上の主語が「一般の人々」

11.　　文の目的語が動名詞の意味上の主語を兼ねる

12.　　文の主語にかかる所有格の名詞が動名詞の意味上の主語を兼ねる

B. 意味上の主語を示す場合

13.　　所有格（文頭）

14.　　所有格 or 目的格

15.　　所有格 or そのまま

16.　　そのまま（無生物）

3　動名詞のさまざまな形

A.　受身形

17.　being p.p.（…されること）

18.　being p.p.＋前置詞（句動詞の受身形）

cf.　need –ing

B.　完了形

19.　述語動詞＝現在形：動名詞＝ –ing　（⇒ 現在）

20.　述語動詞＝現在形：動名詞＝having p.p.　（⇒ 過去もしくは現在完了）

21.　述語動詞＝過去形：動名詞＝ –ing　（⇒ 過去）

22.　述語動詞＝過去形：動名詞＝having p.p.　（⇒ 過去完了）

23.　having been p.p.（受身形）

C.　否定形

24.　not ＋ –ing

25.　not ＋ having p.p.

4　動名詞の慣用表現

26.　can't help –ing（…せずにはいられない）

27.　there is no point in –ing　（しても意味がない）

28.　be used to –ing (…することに慣れている)

5　動名詞 vs. 不定詞

不定詞	これからすること まだしていないこと	積極的	特定的 個別的
動名詞	すでにしたこと 今してること	消極的	一般的

A.　V＋動名詞

29.　enjoy –ing　（～するのを楽しむ）

B.　V＋不定詞

30.　decide to do　（～することに決める）

C.　目的語が動名詞と不定詞で意味の異なる他動詞

31.　forget －ing　（～したことを忘れる）

　　forget to ～　（～することを忘れる）